

2023 学会年度第 1 回臨時代議員総会議事録

(2023・2024 学会年度第 1 回)

2024 年 1 月 28 日(日)15 時 05 分～17 時 05 分
Zoom オンライン開催

1. 開催日時：2024 年 1 月 28 日（日）15 時 05 分～17 時 05 分
2. 開催場所：〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401
(株)ガリレオ 学会業務情報センター 東京オフィス内
3. 出席代議員：代議員総数 49 名中 46 名出席（うち 7 名書面出席）
上山浩次郎，平沢和司，小川和孝，島 一則，小野奈生子，北澤 毅，白川優治，
高木誠一，高橋靖幸，知念 渉，相澤真一，稲葉浩一，酒井 朗，鶴田真紀，
中村高康，額賀美紗子，広田照幸，朴澤泰男，元森絵里子，山田哲也，吉田 文，
伊藤彰浩，内田 良，片山悠樹，丸山和昭，渡邊雅子，荒牧草平，岩井八郎，
志水宏吉，高田一宏，西田芳正，原清治，尾川満宏，加野芳正，作田良三，
村澤昌崇，伊藤友子，深堀聰子，藤田由美子
(書面出席) 岩永雅也，西島 央，秋葉昌樹，本田由紀，吉川 徹，園山大祐，
木村拓也
4. 出席理事：酒井 朗，荒牧草平，内田 良，中村高康，平沢和司，広田照幸，村澤昌崇，
山田哲也，吉田 文，相澤真一，岩井八郎，小川和孝，小野奈生子，白川優治，
立石慎治，鶴田真紀，越智康詞
5. 出席監事：加野芳正，朴澤泰男
6. その他出席者：加藤美帆，上地香杜，仁平典宏，日下田岳史，古田和久，川口俊明
(事務局員) 高嶋 江，成澤雅寛
出席者は全員 Web 会議システム（利用サービス名：Zoom）を利用して参加

I. 議長選出・議事録署名人の指名

代議員総会に先立ち、議長として渡邊雅子代議員、議事録署名人として加野芳正監事および朴澤泰男監事が指名された。

II. 会長挨拶

酒井会長（代表理事）より、開会の挨拶がなされた。

III. 臨時代議員総会の成立確認

議長により定足数を満たすことが確認され、臨時代議員総会の成立が宣言された。

IV. 議題

[報告事項]

1. 事務局長報告……………資料 1
山田事務局長より、下記の点について報告がなされた
1) 法人登記について
2) 法人口座の開設状況
3) 各種規程・細則の見直しと集約
4) 学会ウェブサイトの更新について
2. 特別委員会の設置について……………資料 2
酒井会長より、特別委員会の設置について報告がなされた。
3. 第 76 回年次研究大会（於 信州大学）について……………資料 3

1) 業務委託について

白川理事（年次研究大会支援部）より 2024 年以降の大会運営に関する報告がなされた。

2) 総会にかわる事務報告会の開催形式について

山田事務局長より、総会にかわる事業報告会の開催形式に関する報告がなされた。

相澤理事より、意見交換ができる場にしていく重要性に関する発言がなされた。

4. 大会校理事報告

越智大会校理事より、大会開催に関する進捗状況について報告がなされた。

5. 各部・各委員会報告……………資料 4

○企画部

荒牧理事より、企画部の今後の課題および方針と進捗状況について報告がなされた。

○会計部

小川理事より、会計部の活動予定と活動方針について報告がなされた。

○広報部

立石理事より、ニュースレター第 179 号の発行ならびに学会ウェブサイトの更新について報告がなされた。また、今後の活動予定について方針が示された。

○年次研究大会支援部

白川理事より、下記に関する報告がなされた。

1) 年次研究大会の準備・運営の適切な支援

2) 年次研究大会の業務委託に関する、コムラ社との各種調整に関する報告がなされた。

○大会実行委員会

白川理事より、下記に関する報告がなされた。

1) 次回大会について

2) 大会運営準備の体制

3) 準備・運営について

○会員管理部

小野理事より、下記に関する報告がなされた。

1. 入退会、会員異動に関する業務

2. 法人化に伴う入会手続細則の作成（ウェブサイト上の「入会案内」の修正）

3. 選挙管理委員会の業務補助

4. 会員構成と動向についてのデータ整理（年齢や身分別の会員構成と近年の推移の把握）

○教育部

村澤理事より、今後の活動方針として、若手研究者支援の充実ならびに広報部・地区活動検討特別委員会との連携について報告がなされた。また、若手研究者交流会を開催予定である旨の報告がなされた。

○ダイバーシティ推進部

内田理事より、年次研究大会での発表・参加におけるアクセシビリティ向上の検討にあたって、他学会の活動状況に関する報告がなされた。

○編集委員会

仁平会員（編集委員会副委員長）より、『教育社会学研究』の査読報告書の書式変更に関して説明がなされた。北澤代議員より、査読結果通知の方式について質問があり、仁平会員より、カバーレターを作成の上、返却を行う旨の返答があった。また、山田事務局長より、東洋館出版社との紀要刊行に関する契約条件に関する交渉状況が報告された。

相澤理事より、『教育社会学研究』の投稿原稿の書式テンプレートに関する提案があった。

○研究委員会

平沢理事より、下記に関する報告がなされた。

1 第 2 回研究委員会について

1) 2023 年度学会年度からの会計処理の変更点

2) 地区活動検討特別委員会設置について

3) 大会運営の業務委託について

2 研究発表の申し込み・発表要旨の見直しについて

- 3 大会時の部会名としての「外国の教育」の廃止について
- 4 2024 年大会の課題研究について
- 5 次回委員会について

○国際委員会

相澤理事より、下記に関する報告がなされた。

1. 2023 学会年度の活動予定や活動方針について
 - 1) 海外の学会との関係継続ならびに今後のあり方に関する精査
 - 2) 9 月の年次大会における英語部会の開催
 - 3) 会員の国際化を支援するラウンドテーブルあるいはワークショップのオンライン開催
2. 本学会と関係のある海外の学会からの動きについて
3. 2024 年 9 月開催の年次大会における英語部会の設置について
4. 国際委員会が主催となるラウンドテーブルあるいはワークショップの開催について

○学会賞選考委員会

岩井理事より今期の活動ならびに活動予定として、2023 年度日本教育社会学会第 11 回奨励賞(論文の部)が募集中である旨が説明された。

○倫理委員会

吉田理事より、今期の活動ならびに活動予定として、下記に関する報告がなされた。

1. 倫理委員会への会員からの相談への対応
2. 倫理委員会への相談窓口の連絡先の学会 web サイトへの掲載
3. 日本教育社会学会研究倫理宣言、倫理規程、倫理ガイドライン、倫理委員会規程、相談窓口の連絡先の web 上での統合
4. 前期倫理委員会による会員アンケートの取りまとめ・報告
5. 必要に応じた倫理委員会規程、倫理規程、倫理ガイドラインの見直し
6. 必要に応じた会員への啓発活動

○大型プロジェクト特別委員会

中村理事より、以下の 2 つの大型プロジェクトの進捗状況について報告がなされた。

- 1) オンライン調査を活用した義務教育 9 年間における教育格差の追跡調査研究 (主担当: 川口会員 (大型プロジェクト特別委員会副委員長))
- 2) 人口減少地域 (社会) における教育課題 (主担当: 尾川代議員 (同副委員長))

○地区活動検討特別委員会

広田理事より、委員会の活動状況状況の報告ならびに委員の追加が提案された。

[決議事項]

1. 法人化顧問から「会則改正」の提案……………資料 5
山田事務局長より、「入会金及び会費の承認の件」を会則に加えることが提案され、過半数の賛同により承認された。

V. その他

議長より、次回臨時代議員総会は 2024 年 6 月に開催予定であることが報告された。

以上をもって本日の審議を終了したので、議長は閉会を宣言した。閉会時刻は 17 時 05 分であった。

以上の議事を明確にするため、この議事録を作り、議長および議事録署名人 2 名が記名押印する。

一般社団法人 日本教育社会学会 第 1 回臨時代議員総会

議長(代議員) 渡邊雅子 印

議事録署名人 加野芳正 印

議事録署名人 朴澤泰男 印